

2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demae-can.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 英雄
 問合せ先責任者(役職名) 財務経理部長 (氏名) 小林 元樹 (TEL) 050-5445-5390
 定時株主総会開催予定日 2023年11月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の連結業績(2022年9月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	51,416	8.7	△12,259	—	△12,122	—	△12,154	—
2022年8月期	47,314	63.4	△36,442	—	△36,595	—	△36,218	—

(注) 包括利益 2023年8月期 △12,156百万円(—%) 2022年8月期 △36,244百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	△92.25	—	△25.2	△19.6	△23.8
2022年8月期	△284.24	—	△119.2	△81.7	△77.0

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 86百万円 2022年8月期 89百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	54,746	42,340	77.3	320.16
2022年8月期	69,190	54,225	78.4	411.78

(参考) 自己資本 2023年8月期 42,335百万円 2022年8月期 54,215百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	△12,290	△64	△0	40,906
2022年8月期	△39,986	50	83,001	53,262

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 2024年8月期(予想) 配当金につきましては無配とさせていただきます。

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	56,000	8.9	△8,000	—	△7,960	—	△7,981	—	△60.36

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期	132,421,230株	2022年8月期	131,755,230株
② 期末自己株式数	2023年8月期	189,517株	2022年8月期	91,587株
③ 期中平均株式数	2023年8月期	131,753,229株	2022年8月期	127,418,601株

(参考) 個別業績の概要

2023年8月期の個別業績（2022年9月1日～2023年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	51,404	9.8	△12,166	—	△11,581	—	△12,093	—
2022年8月期	46,820	64.8	△36,509	—	△36,749	—	△36,386	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年8月期	△91.79		—					
2022年8月期	△285.57		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	54,522	42,254	77.5	319.51
2022年8月期	68,888	54,078	78.5	410.66

(参考) 自己資本 2023年8月期 42,249百万円 2022年8月期 54,069百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年10月13日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催と同時に当社ホームページに掲載する予定です。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表及び財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度及び当事業年度より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前事業年度につきましても百万円単位に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきまして、当社グループはフード及びノンフード領域における加盟店ラインナップの拡充や配達時間の精度向上、カスタマーサービスの品質等サービス体験の改善を積み重ねることで、ユーザー、配達員、加盟店の満足度向上・定着化を図ってきました。今後も、多くのユーザー、配達員、加盟店から「選ばれるプラットフォーム」となるために、日々ユーザー体験を向上させ、「デリバリーの日常化」を実現してまいります。

コスト面におきましては、売上原価の適正化は順調に進み、広告宣伝費についてもマーケットのトレンドを注視しながら、投資対効果を重視した施策を行っています。

その結果、当連結会計年度の売上高は51,416百万円（前期比8.7%増）と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は12,259百万円（前期は36,442百万円の営業損失）、経常損失は12,122百万円（前期は36,595百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は12,154百万円（前期は36,218百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「出前館事業」と「通信販売事業」の2つに区分して報告しておりましたが、当連結会計年度より「出前館事業」の単一セグメントに変更しておりますので、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で14,571百万円減少し、54,292百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が12,355百万円減少し、未収入金が917百万円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で127百万円増加し、454百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が66百万円増加、差入保証金が66百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で14,443百万円減少し、54,746百万円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で2,607百万円減少し、12,307百万円となりました。主な要因は、未払金が2,988百万円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で48百万円増加し、98百万円となりました。主な要因は、その他が48百万円増加したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で2,558百万円減少し、12,406百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で11,885百万円減少し、42,340百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失12,154百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、40,906百万円となり、前連結会計年度末と比較して12,355百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、12,290百万円（前連結会計年度は39,986百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、税金等調整前当期純損失12,115百万円、未収入金の減少917百万円、未払金の減少2,990百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、64百万円（前連結会計年度は50百万円の増加）となりました。主な増減の内訳は、敷金及び保証金の差入による支出72百万円、敷金及び保証金の回収による収入51百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、0百万円（前連結会計年度は83,001百万円の増加）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
自己資本比率	39.8	80.3	32.2	78.4	77.3
時価ベースの自己資本比率	855.2	536.6	628.1	113.4	97.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	8.2	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	41.8	—	—	—	—

- ・自己資本比率：自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2024年8月期の見通しにつきましては、引き続き「出前館事業」の拡大を通じて「デリバリーの日常化」を押し進めてまいります。出前館のステークホルダーであるユーザー・加盟店・配達員、それぞれのデリバリー体験が向上するためのプロダクトやサービスの改修に向けて投資を継続すると共に、費用の適正化を図って収益面の改善も進めてまいります。

こうした状況を踏まえ、2024年8月期の連結業績予想は、現時点で想定しうる範囲内においてGMVは2,160億円（前年比105%）、売上高は560億円（前年比109%）、営業利益は△80億円を見込んでおります。

記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、積極的な事業展開のもと、経営基盤の強化、経営効率の改善を図ることにより企業価値を高め、株主の皆様に対して継続的かつ安定的に利益還元を図ることを基本方針としております。将来に向けた積極的な投資を行いつつも、配当性向は30%を目安とし、安定的に継続して実施することを目指しております。

当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本的な方針としております。なお、会社の業績に応じた株主の皆様への利益還元を柔軟に実施するため、当社は「毎年2月末日を基準日として、取締役会の決議をもって、株主または登録株式質権者に対し、中間配当として剰余金の配当を行うことができる」旨を定款に定めており、これらの剰余金の配当については、取締役会を決定機関としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの多くの利害関係者は、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,262	40,906
受取手形及び売掛金	104	158
商品及び製品	17	—
未収入金	13,332	12,414
その他	2,188	898
貸倒引当金	△42	△86
流動資産合計	68,863	54,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5	3
減価償却累計額	△5	△3
建物及び構築物(純額)	—	—
その他	121	103
減価償却累計額	△121	△103
その他(純額)	—	—
有形固定資産合計	—	—
投資その他の資産		
投資有価証券	254	320
差入保証金	59	126
繰延税金資産	12	7
その他	1	6
貸倒引当金	△1	△6
投資その他の資産合計	326	454
固定資産合計	326	454
資産合計	69,190	54,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	14,615	11,626
未払法人税等	97	21
賞与引当金	21	35
その他	180	624
流動負債合計	14,915	12,307
固定負債		
その他	50	98
固定負債合計	50	98
負債合計	14,965	12,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	112,269	54,166
利益剰余金	△58,184	△11,959
自己株式	△3	△3
株主資本合計	54,181	42,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	32
その他の包括利益累計額合計	34	32
新株予約権	9	4
純資産合計	54,225	42,340
負債純資産合計	69,190	54,746

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	47,314	51,416
売上原価	49,224	40,909
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,909	10,507
販売費及び一般管理費	34,532	22,767
営業損失(△)	△36,442	△12,259
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取保険金	14	4
持分法による投資利益	89	86
助成金収入	137	23
その他	22	29
営業外収益合計	266	146
営業外費用		
支払利息	0	—
為替差損	—	3
新株発行費	397	3
損害賠償金	7	0
その他	13	1
営業外費用合計	419	8
経常損失(△)	△36,595	△12,122
特別利益		
固定資産売却益	3	2
事業譲渡益	129	—
新株予約権戻入益	589	6
特別利益合計	722	8
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	29	—
過年度決算訂正関連費用	181	—
持分変動損失	—	2
特別損失合計	210	2
税金等調整前当期純損失(△)	△36,083	△12,115
法人税、住民税及び事業税	107	21
法人税等調整額	26	17
法人税等合計	134	38
当期純損失(△)	△36,218	△12,154
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△36,218	△12,154

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
当期純損失(△)	△36,218	△12,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△2
その他の包括利益合計	△26	△2
包括利益	△36,244	△12,156
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△36,244	△12,156
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	16,113	12,980	△21,966	△633	6,494
当期変動額					
新株の発行	39,251	39,251			78,503
資本金から準備金又は剰余金への振替	△55,265	55,265			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△36,218		△36,218
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		4,772		629	5,401
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	△16,013	99,288	△36,218	629	47,686
当期末残高	100	112,269	△58,184	△3	54,181

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	60	60	320	6,875
当期変動額				
新株の発行				78,503
資本金から準備金又は剰余金への振替				—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△36,218
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				5,401
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26	△26	△310	△337
当期変動額合計	△26	△26	△310	47,349
当期末残高	34	34	9	54,225

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	112,269	△58,184	△3	54,181
当期変動額					
新株の発行	275				275
資本金から準備金又は剰余金への振替	△275	275			—
欠損填補		△58,378	58,378		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△12,154		△12,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△58,102	46,224	—	△11,878
当期末残高	100	54,166	△11,959	△3	42,303

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34	34	9	54,225
当期変動額				
新株の発行				275
資本金から準備金又は剰余金への振替				—
欠損填補				—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△12,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	△2	△4	△7
当期変動額合計	△2	△2	△4	△11,885
当期末残高	32	32	4	42,340

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△36,083	△12,115
減価償却費	16	—
株式報酬費用	405	233
減損損失	29	—
固定資産除却損	0	—
過年度決算訂正関連費用	181	—
固定資産売却損益(△は益)	△3	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△53	49
賞与引当金の増減額(△は減少)	△110	13
受取利息及び受取配当金	△2	△2
新株発行費	397	3
支払利息	0	—
事業譲渡損益(△は益)	△129	—
持分法による投資損益(△は益)	△89	△86
助成金収入	△137	△23
売上債権の増減額(△は増加)	193	△59
前払費用の増減額(△は増加)	△577	411
未収消費税等の増減額(△は増加)	△803	1,061
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14	17
仕入債務の増減額(△は減少)	△26	—
未収入金の増減額(△は増加)	△4,223	917
未払金の増減額(△は減少)	2,164	△2,990
その他	△985	364
小計	△39,853	△12,207
利息及び配当金の受取額	12	16
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△128	△125
法人税等の還付額	27	2
助成金の受取額	137	23
過年度決算訂正関連費用の支払額	△181	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,986	△12,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6	—
無形固定資産の取得による支出	△164	—
固定資産の売却による収入	7	2
事業譲渡による収入	238	—
資産除去債務の履行による支出	△25	△45
敷金及び保証金の差入による支出	△35	△72
敷金及び保証金の回収による収入	35	51
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	50	△64

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	77,616	—
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	5,400	—
配当金の支払額	△0	—
その他	△16	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	83,001	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,065	△12,355
現金及び現金同等物の期首残高	10,196	53,262
現金及び現金同等物の期末残高	53,262	40,906

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

「当連結会計年度(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、従来「出前館事業」と「通信販売事業」の2つに区分して報告していましたが、通信販売事業を展開していた子会社である株式会社出前館コミュニケーションズが、2022年6月30日に通信販売事業を譲渡いたしましたので、当連結会計年度より「出前館事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報の記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	出前館事業	通信販売事業	合計
出前館サービス利用料	44,446	—	44,446
通信販売事業	—	493	493
その他	2,374	—	2,374

(注) 通信販売事業は、2022年6月30日に事業譲渡を行い、2021年9月1日から2022年6月30日までの10ヶ月間の累計金額となっております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	出前館事業	合計
出前館サービス利用料	47,550	47,550
その他	3,866	3,866

(注) 当連結会計年度より、製品及びサービスごとの情報を現在の事業戦略と照らし合わせ、2つの区分に変更しております。

この変更に伴い、前連結会計年度の製品及びサービスごとの情報も変更後の区分で記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：百万円)

	出前館事業	通信販売事業	全社・消去	合計
減損損失	29	—	—	29

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	411.78円	320.16円
1株当たり当期純損失(△)	△284.24円	△92.25円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	54,225	42,340
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	9	4
(うち新株予約権(百万円))	(9)	(4)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	54,215	42,335
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	131,663,643	132,231,713

3. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△36,218	△12,154
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△36,218	△12,154
期中平均株式数(株)	127,418,601	131,753,229
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。